

# 水辺に親しむ豊かな暮らしへ。 人と自然がふれあう 空間づくりを進めています。

身近に自然と親しめる環境づくりに取り組んでいます。

## 親水護岸

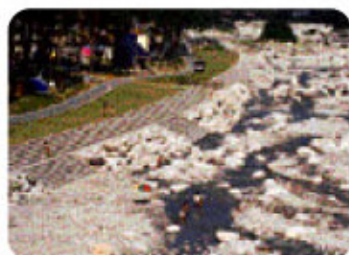
### 椋原河川公園

三峰川では、地域の方の声により作成された「三峰川みらい計画」の実現に向け、さまざまな環境整備事業が進められています。椋原河川公園の整備もそのひとつ。三峰川の川辺に子供広場や多目的広場、マレットゴルフ場などが点在する親水公園となっています。



### 与田切公園

アカマツを主体とした天然林が広がる与田切川。その川沿いにある与田切公園はキャンプなどができるレクリエーション空間で、流域の安全性を高めるためにつくられた与田切床固工群と一体で整備されました。ここでは、周辺の豊かな自然や景観と調和し、水辺に親しむことができるよう、さまざまな工夫が凝らされています。



※これらの公園は、地元の市町村や地域の方々により管理・運営されています。

子供たちと一緒に楽しみながら学習できる川づくりを提案しています。

## 水辺の楽校

水辺の楽校は、国土交通省が全国の河川で実施しているプロジェクトです。川を「楽しみ」ながら「学習」できる場所(学校)にしたいということから「楽校」と名づけられました。川を子供たちの遊びの場、環境教育の場として整備し、身近に感じてもらうことが目的です。天竜川流域では、天竜川(駒ヶ根市・豊丘村・飯田市の3ヵ所)、小渋川(大鹿村)に水辺の楽校があります。



水辺の楽校(駒ヶ根市)

水辺の楽校(飯田市)  
水辺の動植物の観察や自然体験など、自然から多くのことを学ぶ工夫がされています。



自然と親しみながら、川の生物や水質について調査しています。

## 水生生物調査

水の汚れ方により、すんでいる生き物の種類は違ってきます。そのため川の生き物の種類を調べれば、その場所の水質を判定することができるのです。天竜川の水生生物調査では、毎年多くの小中学生や一般の方が参加。水質状況を調べながら、水辺に親しみ、水質保全や河川美化に理解を深めていただいています。

### 総合学習の一環としていかがですか？

水生生物調査は、小中学校が夏休みとなる毎年7月末～8月上旬ごろ、辰野町から飯田市の天竜川の本川と支川において実施しています。また調査に必要な道具の貸し出しも行っています。



天竜川での水生生物調査(中川村)  
生き物を調べることで、楽しみながら川や自然について学ぶ子供たち。